

- ・ 神の魂を持った人間が肉体を持つ時は、⑥の位置で①の位置になる直前に組み替わって肉体を持ちます。
- そして、必ず苦勞の多い家に生まれて鍛えを受けることになります。
- 5 肉体を脱いで②の位置になって暫くすると、また組み替わって離れて、本体の御神霊と一体となる修行をします。

※ 関連《6 1 P》神の分身の解説

- ・ 図では、6つの個性の魂の大きさが均等ですが、実際には大きさに違いがあります。
- 10 神の魂は、他の5つの魂に比べると、とても大きいです。
- 神の魂と組み合わされる人間の魂は、人間の魂の中でもとても向上した方です。

【守護霊とは】

- 15 地上で肉体を持っている人間と組み合わされている魂のうちの1つで、霊界から守護している存在です。
- ・ 地上で活動している人間がピンチを迎えた場合、他の修行中の魂も、守護霊と一緒に助けに入る事があります。
- 20

【指導霊とは】

- 25 人間を指導するために、霊界から働きかけて下さる方です。
- かつて人間界で肉体を持って活躍した、神の魂を持つ聖者などの偉大な方が、活躍した当時の姿で人間を護って下さっています。
- ・ また、人間が肉体を失った時に、迎えに来て下さる存在でもあり、1人の方が、複数の人間を掛け持ちして指導しています。
- 30

★ キリスト教を信仰している方にはイエス・キリストの弟子達が、仏教を信仰している方には高僧などの方々が、それぞれの信者達を指導して下さっています。

指導霊は、自分が指導している人間に対して、自分の正体を明かすことは許されていません。

35

- ・ 指導霊は、人間が亡くなった直後から、何度も繰り返し迎えに来て下さいますが、その度に拒絶していると、その後は放っておかれます。
- そのため、御霊さんがあまり向上していないうちにお呼びすると、不機嫌なお顔をしていらっしやいます。
- 40 このような場合には、指導霊様に以前のご無礼をお詫びしてから、よろしくお導き下さいとお願いするようにアドバイスしましょう。

※ 守護神については《6 2 P》で解説